

第31回 市川市行徳臨海部まちづくり懇談会

日時 平成23年6月10日（金）

18:30～20:00

会場 行徳文化ホール I & I 大会議室

次 第

1. 開 会

2. 報 告

(1) 行徳臨海部の課題に係る最近の状況について

ア) 主な経緯と今後の予定について

資料-1

イ) 地域コミュニティゾーン整備事業について

資料-2

ウ) 塩浜地区整備事業について

資料-3

エ) 東北地方太平洋沖地震の被災状況について

資料-4

3. その他

4. 閉 会

第31回 市川市行徳臨海部まちづくり懇談会 出席者名簿

平成23年6月10日

分野	氏名	所属・専門	出欠
学識者	西村 幸夫	東京大学 工学部 教授	○
	風呂田 利夫	東邦大学 理学部 教授	×
自治会	鈴木 繁俊	行徳地区自治会連合会 会長	○
	歌代 素克	南行徳地区自治会連合会 会長	○
市民団体	佐野 郷美	市川緑の市民フォーラム 事務局長	×
	安達 宏之	特定非営利活動法人 三番瀬環境市民センター	○
	丹藤 翠	行徳まちづくりの会 代表	○
	東 良一	特定非営利活動法人 行徳野鳥観察舎友の会 理事長	○
漁組	中島 健蔵	市川市行徳漁業協同組合 専務理事	○
	及川 七之助	南行徳漁業協同組合 専務理事	○
企業・関係機関	佐々木 洋晁	市川市塩浜協議会 まちづくり委員会 事務局長	○
	高根 英樹	社団法人 市川青年会議所 理事長	○
	門田 高朋	独立行政法人 都市再生機構 千葉地域支社 都市再生業務部市街地整備チーム チームリーダー	○
	土屋 光博	市川市 副市長	○
市民	川口 勲	市川市民	○

(敬称略)

ア) 主な経緯と今後の予定について

主な経緯 (H22. 12. 10 以降)

平成23年6月10日

年月日	内 容
平成22年	
12月20日	第21回「三番瀬漁場再生検討委員会」開催（千葉県）
12月20日	企業庁と東浜1丁目地先に係る協議
12月22日	第32回「三番瀬再生会議」開催（千葉県）
12月24日	船橋市と東浜1丁目地先に係る協議
平成23年	
2月 1日	船橋市と東浜1丁目地先に係る協議
2月15日	企業庁と東浜1丁目地先に係る協議
3月28日	第31回「市川市行徳臨海部まちづくり懇談会」開催（市川市） 中止
5月16日	「塩浜1丁目護岸の安全対策及び早期完成に関する要望書」を県に提出
5月24日	「三番瀬漁場再生事業連絡協議会」開催（千葉県）

今後の予定

年月日	内 容
開催日未定	「(仮称) 県・4市との連絡会議」開催（千葉県）
開催日未定	「(仮称) 専門家会議」開催（千葉県）
開催日未定	「(仮称) 三番瀬ミーティング」開催（千葉県）
開催日未定	「(仮称) 護岸検討委員会」開催（千葉県）

状 況 報 告

【地域コミュニティゾーン整備事業】

1. 事業の進捗状況

- ・用地買収（平成23年3月末約95%取得） 図－1

2. 当面の作業スケジュール

- ・買収済み用地の有効活用の検討
- ・不法投棄対策や安全対策の実施（柵の設置、掲示板の設置、定期パトロールの実施）

【江戸川第一終末処理場整備事業】

1. 事業の進捗状況

- ・用地買収（全体約50%、第一期地区約81%） 平成23年3月末 図－2

2. 当面の作業スケジュール

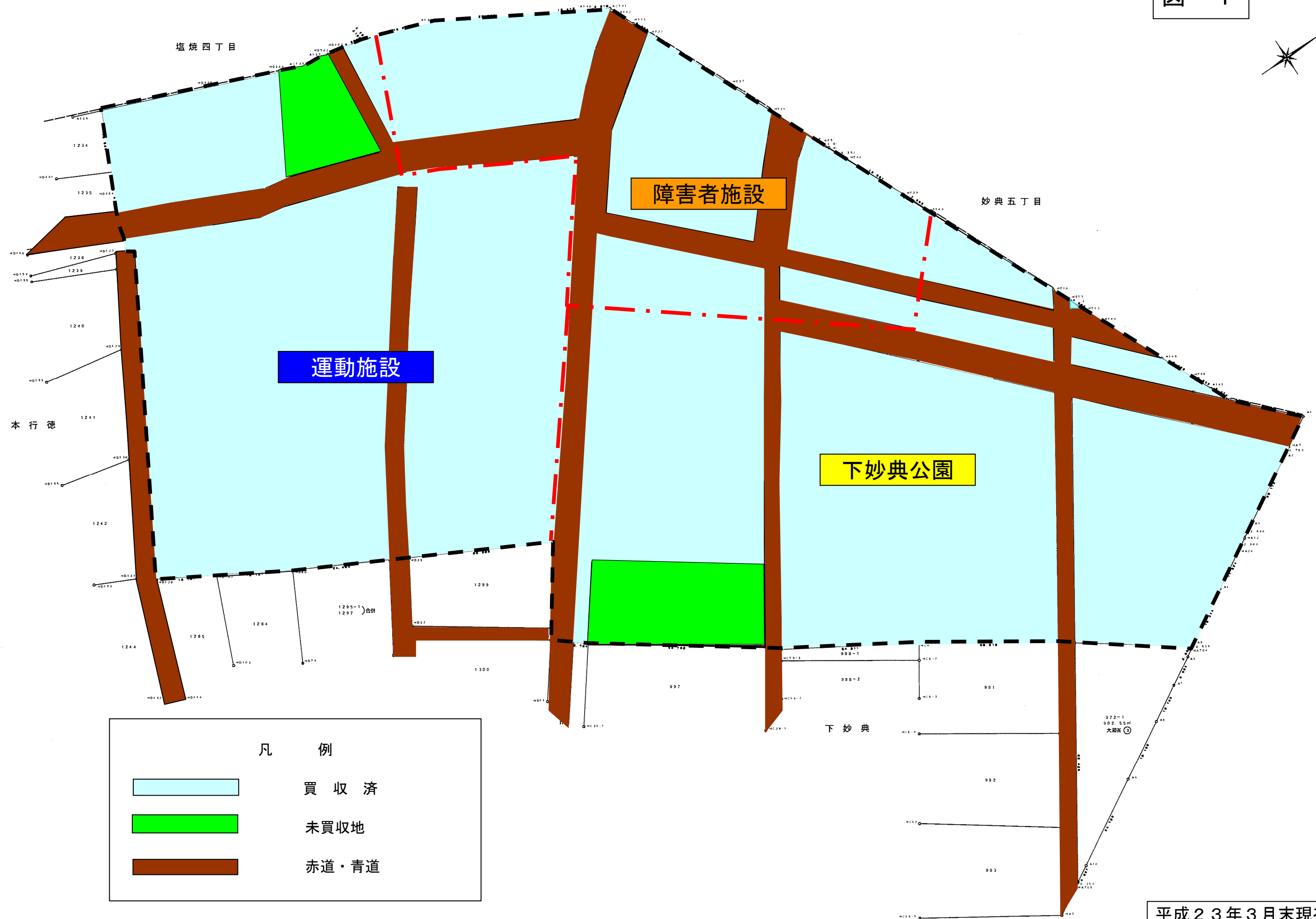
- ・平成23年2月から7月まで環境整備工事を実施
- ・平成23度内に主ポンプ棟の工事に着手予定 図－3




【スーパー堤防事業】

1. 事業仕分けの結果を受け中断中

地域コミュニティゾーン

図-1



凡 例	
	買 収 済
	未買収地
	赤道・青道

平成23年3月末現在

江戸川第一終末処理場 用地取得状況

図-2



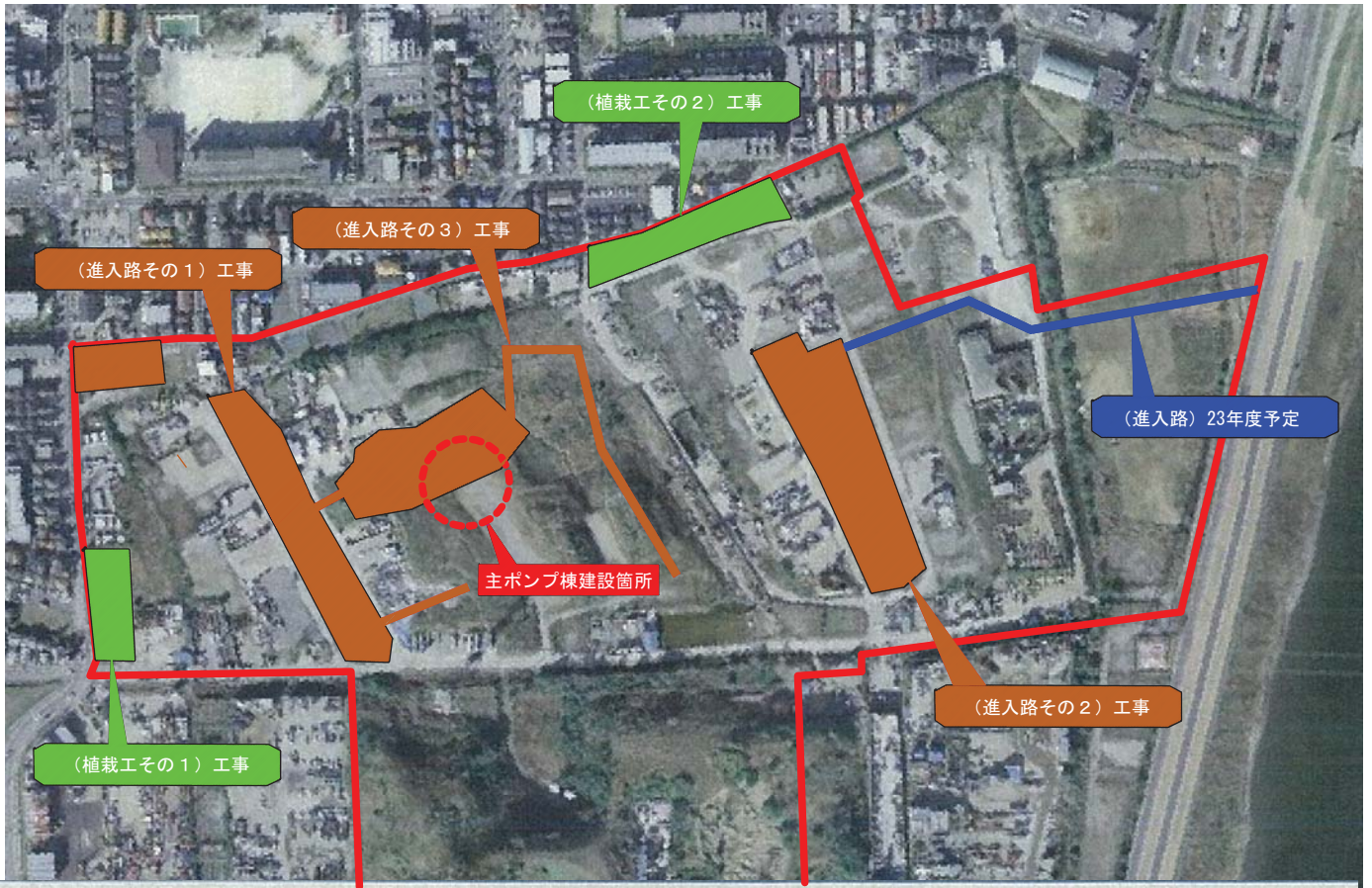
進捗状況

用地取得状況

- ・ 取得率 約50% (平成23年3月現在)
(第1期分 約81%)

平成23年度工事予定箇所

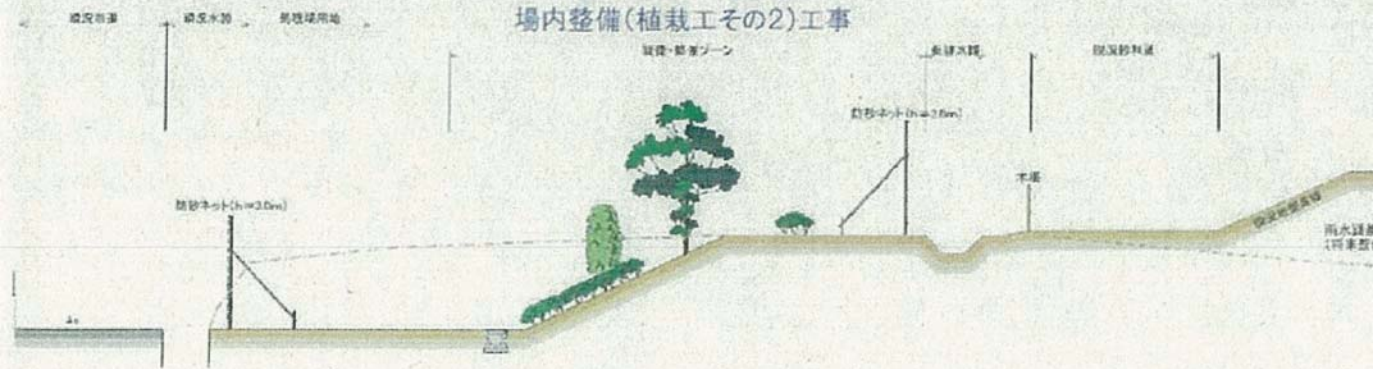
図-3



<整備イメージ>

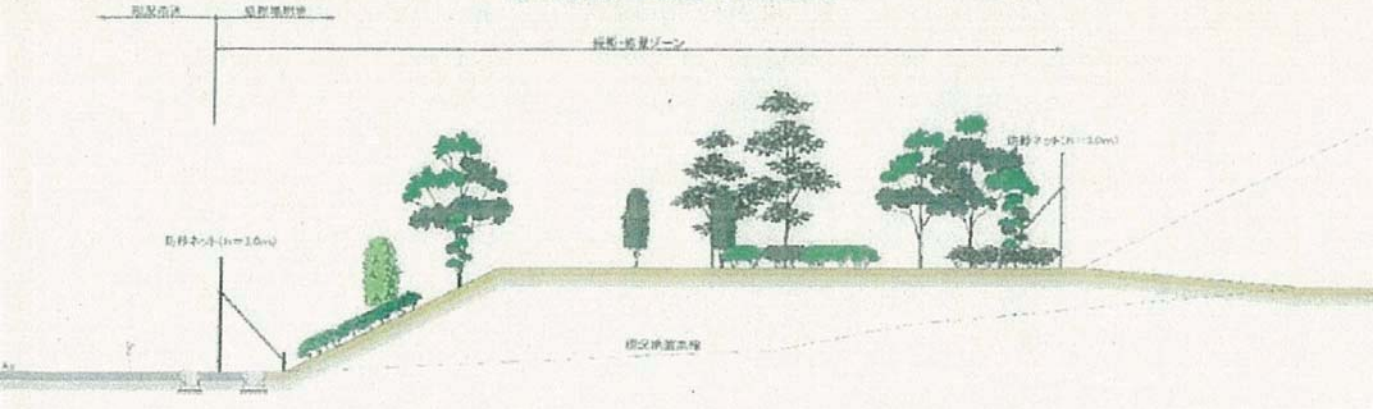
【北側】

場内整備(植栽工その2)工事



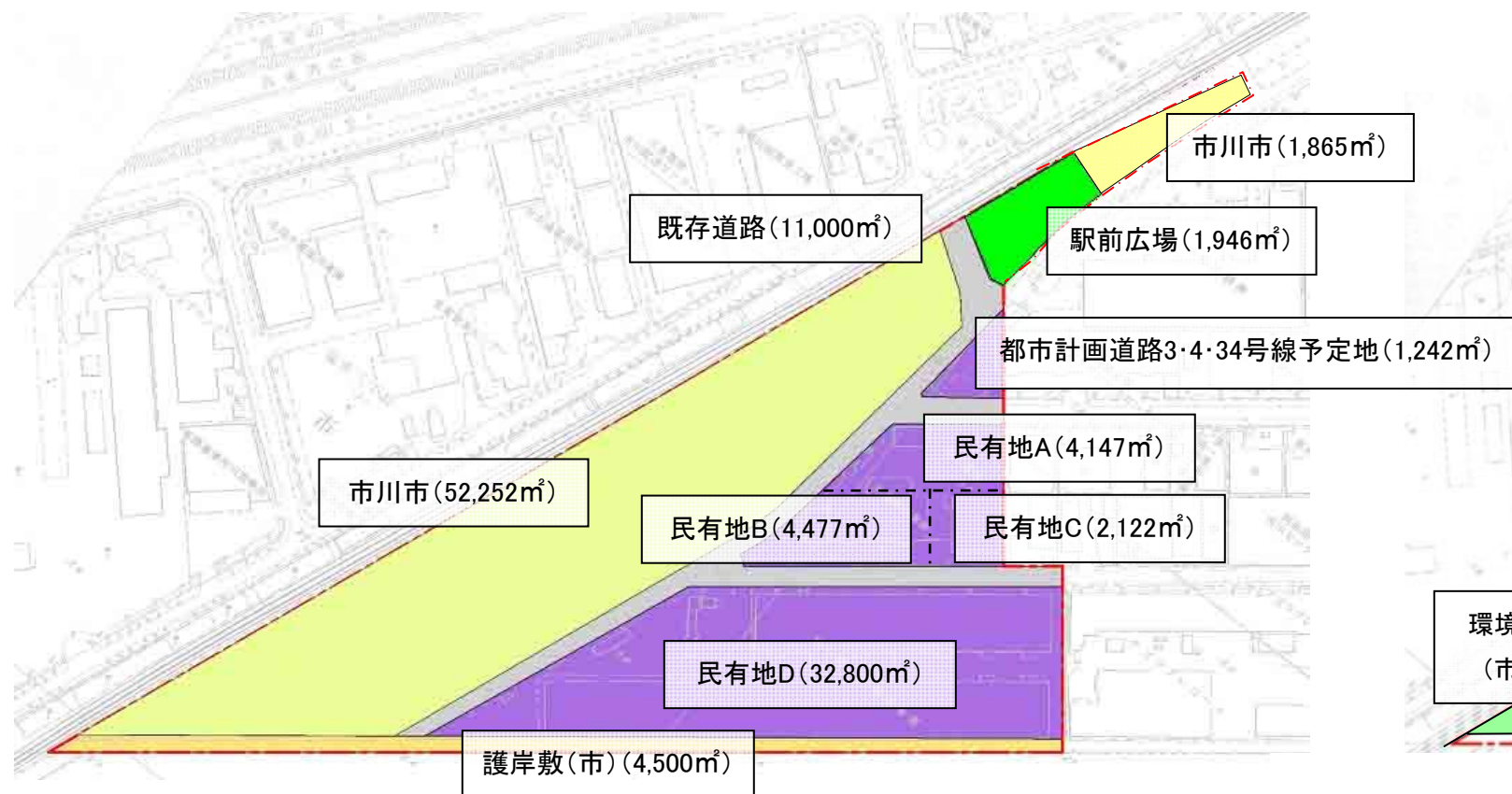
【西側】

場内整備(植栽工その1)工事

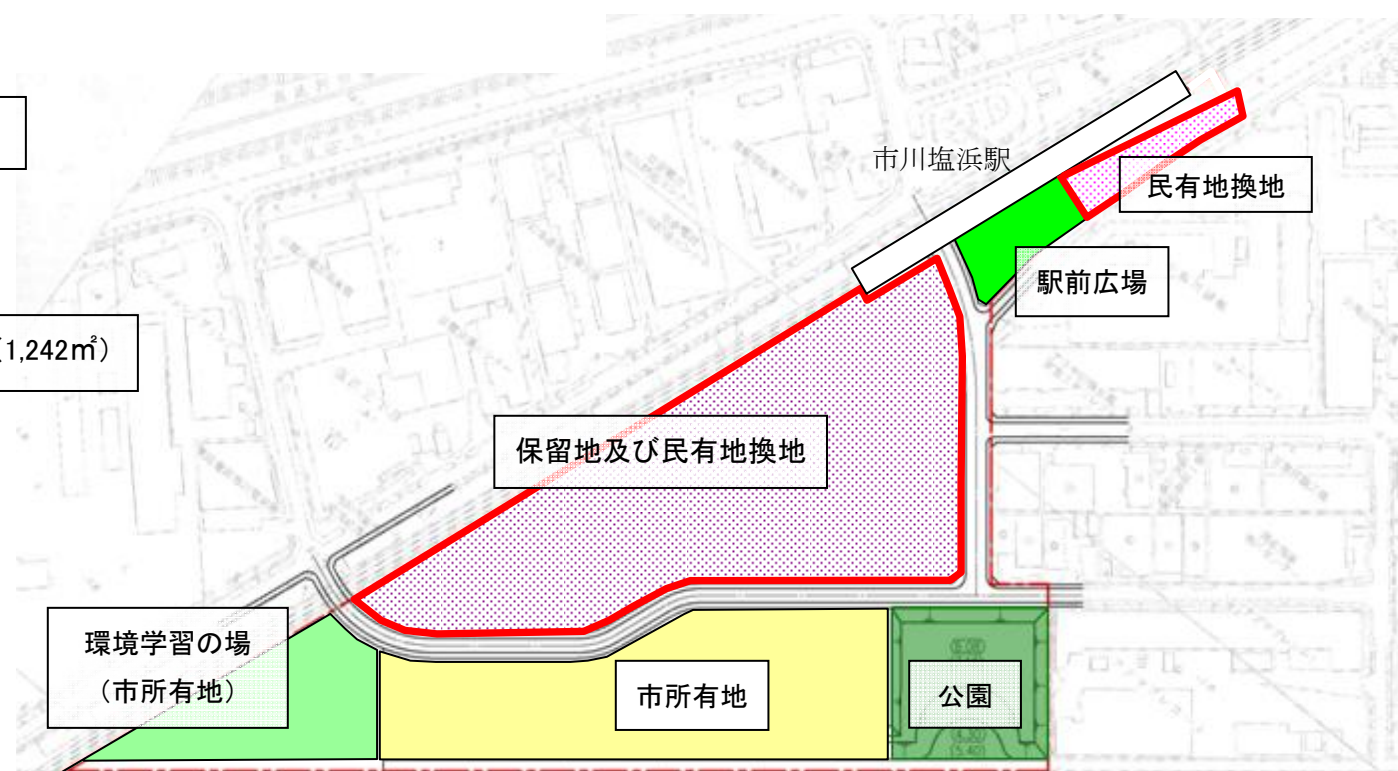


ウ) 塩浜地区整備事業について

第1期先行地区現況図



換地想定図(案)



○経緯・経過

- ・H14.12 「市川市行徳臨海部基本構想」策定
- ・H17.8 「塩浜まちづくり基本計画」策定
- ・H19.6.1 「市川塩浜第1期まちづくり推進協議会」設立(地権者5者)
- ・H22.4.23 塩浜市有地を有効活用事業用地の一部を第1期地区に編入し事業推進図ることで地権者合意
「市川塩浜第1期まちづくり推進協議会」の名称を「市川塩浜第1期土地区画整理事業準備会」へ変更
- ・H22.12.24 「塩浜第1期地区調査設計業務の事業認可迄に関する協定書」締結(地権者5者)
土地区画整理事業調査設計業務委託契約締結

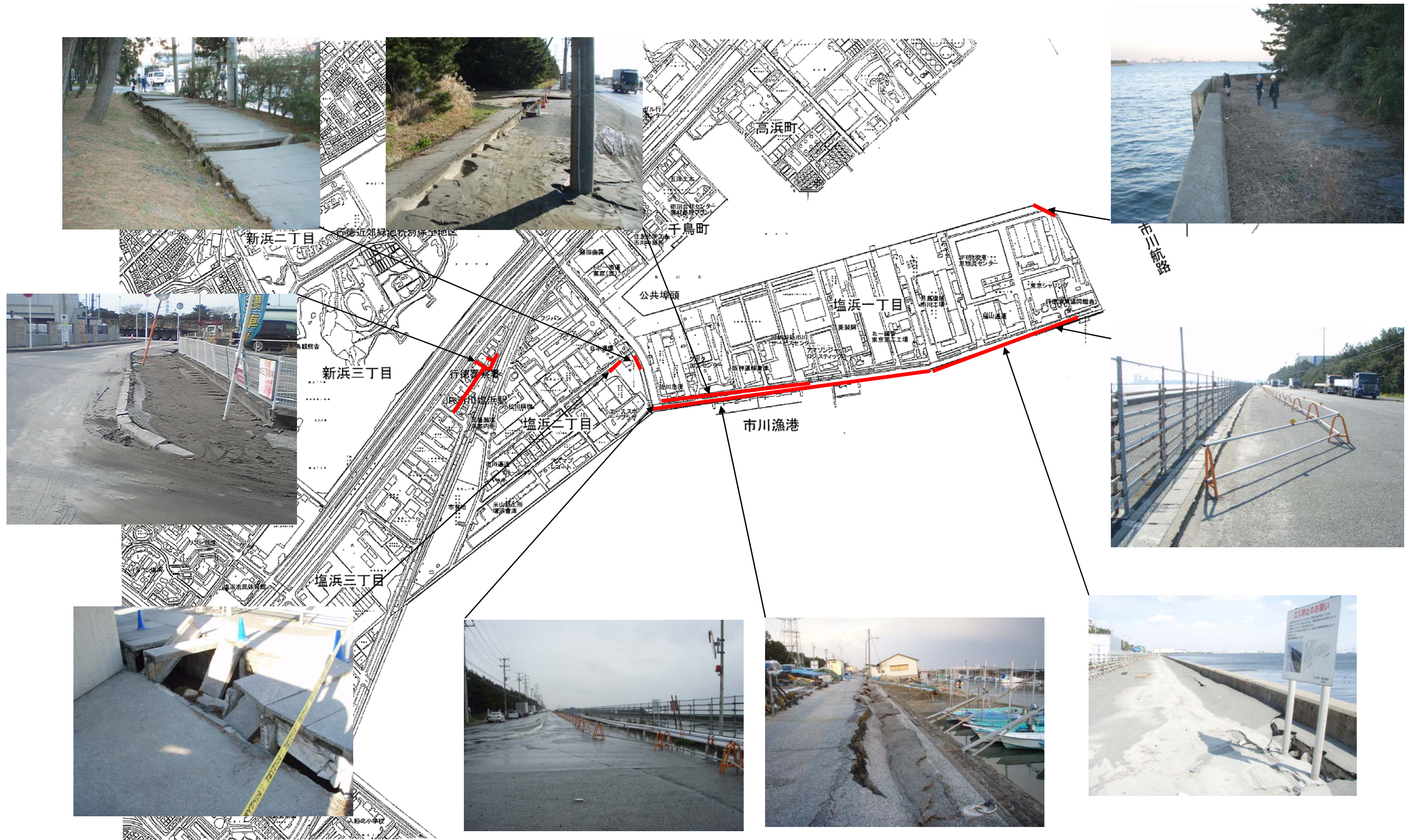
○現 状

土地区画整理事業認可取得に向けて基本設計及び事業計画書(案)を作成し、関係機関との協議中。

土地利用面積

種 別	面積(㎡)
市有地	54,117
民有地	43,546
駅前広場	1,946
既存道路	11,000
護岸敷(市)、その他	5,742
計	116,351

エ) 東北地方太平洋沖地震の被災状況について



東浜1丁目地先



1. 件 名 東日本大震災の三番瀬への影響について

2. 現 況

この度の東日本大震災では、市川市の沿岸部も液状化や干潟の沈下など、地震と津波による影響を受け、三番瀬の状況は確実に変化しています。

そこで市では、三番瀬への影響を把握するため、漁業関係者に聴き取り調査を行いました。

その結果、漁業関係者からは、

○干潟は、全体的に縮小し、行徳漁業協同組合前の干潟は沈下してしまった。

○海底部は、全体的に数十センチの沈下傾向にある。

○底質は、全体的に硬くなっているが、軟弱化した箇所も認められた。

○江戸川放水路は、津波の影響が大きく、高谷川河口の栈橋に大きな被害を受けた。また、放水路内の干潟も波に削られ減少している。

○浦安沖の干潟が縮小したため、アサリにも深刻な影響が出た。

○ホンビノス貝の収穫量も激減している。

との話を聴き、改めて江戸川放水路を含む三番瀬の地形は、震災の影響により大きく変化したものと考えております。



大潮干潮時の行徳漁業協同組合前(干潟沈下)



江戸川放水路湾岸道路橋脚(露出 30cm)

3. 今後の対応

三番瀬の深浅測量につきましては、平成 14 年度と 20 年度に千葉県において調査されていますが、この度の東日本大震災の影響を受け、海底の状況は大きく変化したものと考えられます。

また、漁場への影響も懸念されますことから、三番瀬の再生に向けては、全域での実態把握等が必要と考えております。

このため、三番瀬再生の事業者である千葉県に対し、震災の三番瀬への影響につきまして実態調査の実施を働きかけてまいります。

4. 問い合わせ

環境清掃部 環境政策課 稲葉・浮貝 TEL 047-320-3120

東日本大震災の三番瀬への影響（資料-1）

震災以前はフジツボの下まで干潟がありました

大潮の干潮時でも干潟を見ることができません

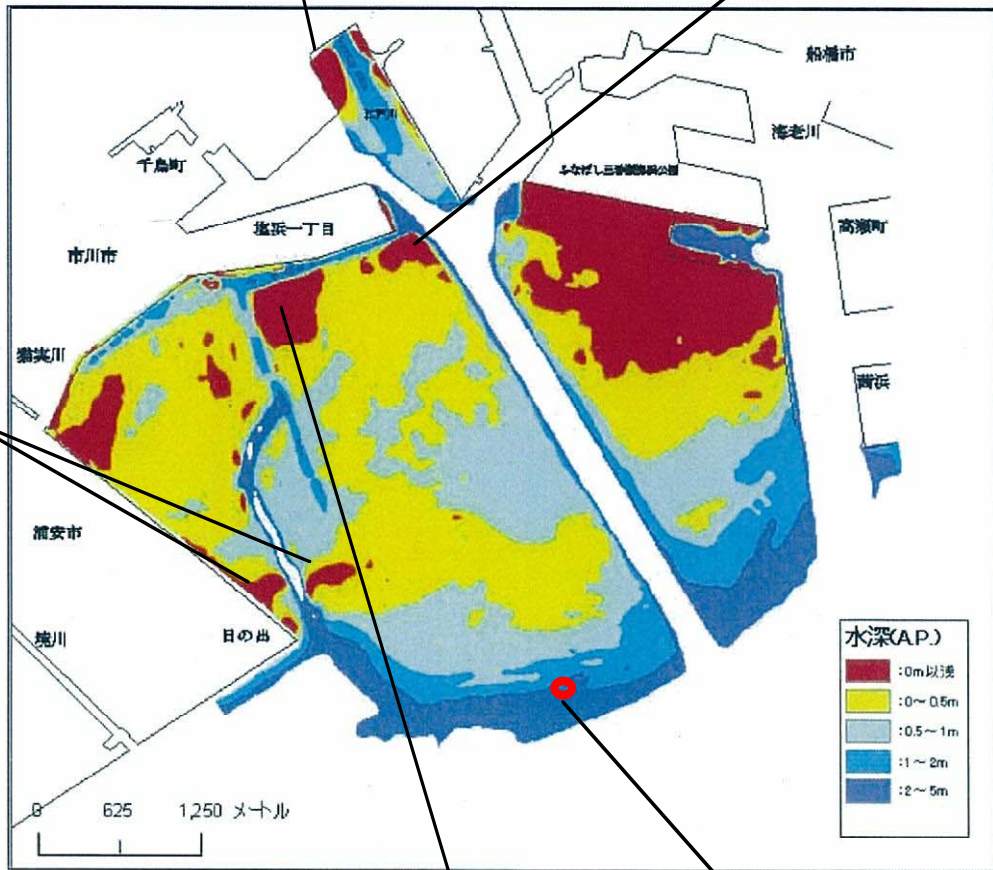


湾岸道路の橋桁



行徳漁協前の干潟

浦安側干潟
沈下・縮小



6番ブイ
沖側に移動



養貝場（人工干潟）

図は平成20年度三番瀬深浅測量調査（千葉県委託調査）から引用した、5m以浅海底地形図

干潟が縮小し、位置も移動しているようです

東日本大震災の三番瀬への影響（資料－２）

国土交通省 関東地方整備局が4月28日に公表した「平成23年東北地方太平洋沖地震による河川被災状況（関東）[第4報]」によりますと、「速報値」として江戸川における50cm以上の水位変動を確認した最も上流の観測所は「行徳可動堰下」とのことです。

写真は、国土交通省江戸川河川事務所提供の津波（第2波）到達時の様子です。



津波（到達時）



津波（引波時）

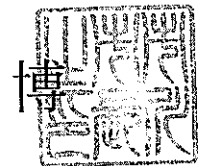
市川第 20110428-0087 号

平成 23 年 5 月 16 日

塩浜 1 丁目護岸の安全対策及び
早期完成に関する要望書

千葉県知事 森 田 健 作 様

市川市長 大久保 博



塩浜1丁目護岸の安全対策及び早期完成に関する要望

新緑の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、本市臨海部のまちづくりに対し、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、三番瀬再生につきましては、今年度から知事のリーダーシップで行政が主体となって事業を進めていくとする姿勢が示され、三番瀬の再生事業が推進するものと期待しているところであります。

そのような中で、塩浜1丁目護岸については、千葉県が平成15年度に実施しました県単海岸線基本設計調査業務委託における市川海岸の鋼矢板護岸の強度調査で「平成26年度には、設計基準を満たさなくなり安全性が保たれているとはいえない」との見解から、平成25年度の完成を目指し、今年度より約300mの捨石工事を実施する計画で進めていただいております。

しかしながら、この度の3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震に伴い塩浜1丁目護岸は海域側に傾き、護岸敷は沈下や陥没、舗装版が壊れるなどの被害が出ております。

現在も余震が続いておりますが、これから台風の到来を控え、市民の生命及び財産を守るとともに安全・安心を早急に図る必要があります。

以上のことから、護岸の安全確保につながる三番瀬の再生・保全のための事業を早期に実施していただきたく下記の事項を要望します。

記

1. 今年度に予定しております捨石工事の更なる延長などにより約600m全区間の早急な安全対策を実施していただきたい。
2. 平成25年度の完成を目指しておりますが、前倒しなどにより早期に完成していただきたい。

塩浜1丁目護岸現況写真

③護岸の傾き（東側）



①護岸の傾き（西側）



④護岸敷の沈下・陥没



②舗装版破壊



⑤鋼矢板の穴から漏水



⑥鋼矢板腐食状況(穴)



⑧鋼矢板剥離



⑦コンクリート剥離

